

医療や看護のスキル提供を介した病病連携について(案)

1 経過

○在宅療養者の急変時の入院受入れ等を推進するためには、在宅療養後方支援病院や地域医療支援病院の確保と併せて、急性期病床を持つ病院からの患者の流れの円滑化、また、地域包括ケア病棟や回復期・慢性期病床を持つ病院におけるサブアキュート患者やポストアキュート患者の受入れ体制の整備などが重要な要素となっています。

○そこで、懇談会での議論も踏まえ、充実した医療環境を有する本市の特性を生かし、各病院が有する医療や看護のスキルを相互に提供し合うことを通じ、病院間の連携の更なる促進と患者の流れの円滑化を目的とした「医療や看護のスキルの提供を介した病病連携」のしくみづくりについて検討してきました。

○吹田市医師会勤務医部会(平成29年12月21日開催)においても、市から本取組について報告させていただき、以下のような御意見をいただいています。

- ・急性期病院からポストアキュートの依頼がくるが、看護師のスキルアップのために基幹病院での研修を市や保健所、医師会でしくみを作ってほしい。
- ・地域包括ケア病棟を作ったが、ポストアキュートに対応できるようにしていきたい。急性期病院からこういう状態のケースをみてほしいというような情報交換の機会を作ってほしい。
- ・当院も転院や退院ができず患者が滞留することがあり困っている。地域医療支援病院がリーダーシップを取ってスキルの提供等をやるべきと思うので協力したい。
- ・病病連携については、ワーキングを作り実務者レベルも含めてもっと議論すべき。

2 医療や看護のスキルの提供を介した病病連携のねらいと取組内容

○急性期病床を持つ病院と、地域包括ケア病棟や回復期・慢性期病床を持つ病院とで、医療や看護のスキルアップのための研修等を行うことにより、更なる病院間の関係性が強化をねらいます。そして、地域包括ケア病棟や回復期・慢性期病床を持つ病院におけるポストアキュート患者の受入れ幅の拡大や、急性期病床を持つ病院における患者の流れが円滑化という両者のメリットをねらい、ひいては、在宅療養者の急変時入院の受入れ促進へとつなげるものです。

○各病院の提供可能な医療や看護のスキル、提供を受けたい医療や看護のスキルに関する情報を市で一覧表にまとめ情報提供するとともに、各病院の医師及び連携室担当者等の情報交換の機会を設定します。そして、病院間でのスキル提供のための研修会等の実施いただき、病病連携の促進につなげるものです。

3 具体的な進め方(案) 資料2参照

- 病院連携室窓口担当者対象の事前説明会の開催(市主催) ……平成 30 年 11 月頃
各病院で本取組についての窓口担当を設定(連携室等)いただき、窓口担当者を対象にした事前説明会(市主催)を開催
取組の趣旨説明とアンケートの依頼、記入方法等について説明

- アンケートの実施と一覧表の作成(市が集約) ……平成 30 年 11 月頃
市から各病院に、提供可能・提供を受けたいスキルに関するアンケートを実施し、その回答をもとに、市が一覧表に集約

- 事業説明会の開催(市主催) ……平成 31 年2月頃
各病院の医師及び連携室等の窓口担当者を対象に、本取組の趣旨説明、一覧表の配付等を行うとともに、病院間の情報交換の機会を設定

- 各病院で研修会等の具体的調整 ……事業説明会以降(来年度から)
連携を取りたい病院に対して、各病院から自主的に働きかけ、研修会等の具体的方法の相談何の研修等を依頼(提供)するか、時期や期間、場所、方法、費用等について、両病院で調整

- 両病院で研修会等の実施
研修をとおして、両病院の関係性の強化、医療や看護のスキル向上、患者の円滑な連携の促進

- 本取組の結果の集約(市から照会) ……来年度末
スキル提供による連携の実績について照会
本取組の運用に関する改善すべき点等について意見集約